

記念事業・活動のふりかえり 未来の

各事業に寄せられた声(加入団体アンケートほかより抜粋)

【会議の運営】 P.4

多数の団体の参加を得られたこと自体が宣伝効果／各プロジェクトを短期間でよくまとめた／会議への参加をもっと増やしたかった／関わり方がよくわからなかった

【川崎宿起立400年記念ロゴ】 P.5

いたる所でロゴを見かけ、区民の目によくふれていた／ロゴは良く活用されていて、認知度も高く、デザインも良かった／冠事業がたくさんあった

【東海道川崎宿場まつり】 P.6-7

ステージ、飲食店、体験など楽しめるコンテンツが充実していた／活気があった／今後は東海道沿いを主会場に、他イベントとも連携したい／江戸を感じる作りを充実させたい。

【東海道川崎宿「中間灯」・まちなみ検討プロジェクト】 P.8-10

宿場のまちなみが失われている中、照明で一体感が生まれた／浮世絵で東海道らしさをアピールし、まちを盛り上げた／東海道のみちしるべとして最高！／ロータリークラブによる松の植樹もありが良かった／安心して回遊できる街道に向けて、さらに取組を

【広報プロジェクト むかしも、いまも。ひねもすかわさき】 P.11-14

ポスターやチラシで市全体を盛り上げた／東海道に興味が薄い方々への周知に一定の効果があった／ブランディングは継続していくことで効果／今後、SNSの重要性が増すだろう

【東海道川崎宿スタンプラリー2023秋】 P.15-16

町内会等と連携し、町全体で盛り上げている／史跡等の由来に興味を持ってくれる人が増えた／老若男女が参加できる、健康にも良い／地域の史跡や名所を再認識できる企画／参加者数をもっと増やしたい／今後を考えると若い世代との協力・連携が必要

【六郷の渡しまつり】 P.22-23

出店者に多様性があり、集客力が高かった／六郷の魅力をお客様が肌で感じたと思う／川崎の様々な魅力を発信できた／クルーズ船に乗った人が楽しそうだった／出店者目線で稼げるイベント／六郷の渡しは川崎宿の重要な要素／常時川辺を楽しめる空間をつくりたい

川崎宿起立400年記念法被の制作

川崎宿起立400年を記念するオリジナル法被を制作・関係者に限定販売。イベント等の際に着用し、祝賀ムードの盛り上げ、一体感の醸成等に寄与しました。これまで東海道川崎宿2023の活動等で着用されてきた法被をベースに、「東海道川崎宿」の文字を中間灯と同じ稲毛神社名譽宮司市川氏の揮毫としたほか、記念ロゴをワンポイントで入れています。



初代市長頌徳碑を市地域文化財登録

川崎宿起立400年を機に、稲毛公園内に建碑されている「川崎市初代市長石井泰助大人頌徳碑」について、川崎宿起立400年記念プロジェクト推進会議の名義で、川崎市地域文化財への登録を申請、2023（令和5）年12月に認証されました。



川崎宿へのメッセージ

推進会議加入団体や関係者から伺った各事業や活動の振り返り、そして未来の川崎宿へのメッセージの一部を紹介します。

川崎宿の未来に向けた一言 (加入団体アンケート、委員コメントより抜粋)

- ・今の川崎の原点の一つが川崎宿。当時を偲び、さらに明るく成長してゆきましょう。
- ・出身地に関わらず、川崎のまちに関わる全ての人がある歴史的財産を知り、価値を高めながら恩恵を享受出来ますように！
- ・川崎の歴史を踏まえた新しい衣食住の生活スタイルが感じられるような店舗、住宅等が続くまちになることを期待します。
- ・400年の歴史の重みに敬意を表すると共に、次の500年に向け、川崎宿が更なる“川崎発展”のシンボルになるよう祈念します。
- ・川崎宿が起点となって「昔と今と未来」色々な結びが生まれたらいいなと思います。川崎の特色を生かしながらも、新しい川崎が誕生することを期待しています。
- ・かつて旅人を受け入れ、おもてなしをした川崎宿の歴史を、未来に向けてしっかり紡いでいきたいです。
- ・今後も昔の川崎宿のように、川崎でたくさんの人が出会い、時を過ごせる場所でありますように！
- ・歴史を感じられ、古いものと新しいものが融合した場所にしたい。
- ・旧東海道沿道に街灯が一直線にライトアップされた中間灯はとても幻想的であり、今後も残してほしいです。
- ・これからが川崎を観光資源として捉えるチャンス!!
- ・子ども会や学校などともっと連携したい。
- ・川崎宿を誰もが歩きたくなるワクワクする観光資源にしたい。
- ・まちづくりの哲学、人の心を動かすリーダーの誕生が望まれる。



川崎夜市にて
三角おむすびを販売



川崎大師風鈴市で川崎宿起立400年記念の短冊が登場
「東海道川崎宿起立四〇〇年」の文字は、川崎大師平間寺の貫首に揮毫いただきました。



川崎宿ランチョンマットと
特別メニューの給食で笑顔の川崎小学校生徒

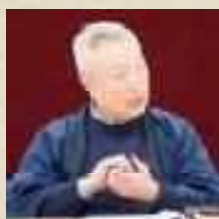


JR川崎駅東口駅前で
行われたシンポジウムPRイベント

2024 その先へ



東海道川崎宿の活動の始まり



濱館 まず、東海道川崎宿の活動に関わり始めたきっかけや思いをお聞かせください。

石渡 私のきっかけは、1995（平成7）年の「川崎区づくり白書策定委員会」で『川崎宿に光を』と提案したことでした。

濱館 20年以上も前になりますね。その少し後、東海道の宿駅制度400周年の2001（平成13）年に開催された「大川崎宿まつり」も重要な出来事でしたね。

木村 私のきっかけは、約4年前ですが、川崎宿の認知を更に広げ、地域一帯の賑わいにつなげたいという思いから活動に関わり始めました。

濱館 今回の400年プロジェクトで目玉となったのが中間灯の設置だったと思います。まちなみ検討プロジェクトの岩澤さんからお話を伺えますか。

岩澤 まず考えたのが「東海道の存在をどうみなさんに気づいてもらうか」ということでした。戦災などで宿場のまちなみは残っていませんが、「道」があることの価値に気づいてほし

い。インバウンド客など滞在者にもっとまちに出て楽しんでほしい。そんな思いが形になったのが、中間灯でした。

濱館 東海道をコンセプトとしている「ホテル縁道」総支配人、吉岡さんからもお話を伺えますか。

吉岡 プロジェクトに参加して、ホテルや電鉄の各企業の方々、そして地域の方々と今回つながりができたことが非常にありがたかったです。また取り組みを通して、皆さんの意識が「川崎宿を観光資源としてもっと活かすべき」と変わってきたと実感しています。



つながりから生まれた新たな取り組み

濱館 東海道川崎宿を活かして、今後どんなことをしていきたいですか。

木村 東海道川崎宿をお祭りの時には歩行者天国にしたいですね。はじめは一部からでも、少しずつ広がっていけばいいと



これまで東海道川崎宿を活かしたまちづくりには、多くの方々が尽力してきました。これまでの取り組みとそこに込められた思い、これからのまちづくりの展望について関係者で語り合いました。

思います。東海道を懸け橋に駅前や商店街、国道側の賑わいが一体となっていってほしいです。

吉岡 ホテル業界ではコロナ禍でビジネス客が減少したことで、観光客の誘客により注力する必要があります。ホテルの価値は、宿泊するだけでなく、まちに出て、どれだけまちを体験し、人と繋がれるかだと思うので、地域との連携を強化していきたいです。現在、私共のホテルが立地する東海道から稲毛神社までの参道を周辺の地権者さんと共に盛り上げる「まちなみ座談会」にも取り組んでいます。

岩澤 私は、同年代の経営者仲間と「川崎宿インバウンド研究会」を立ち上げました。川崎の強みである利便性を活かし、羽田のトランジット需要などをつかむために、半日程度の川崎の回遊ツアーを企画し、実施しています。

濱館 先日開業した「SAKE Kura Hotel川崎宿」さんの様に、東海道や川崎宿をコンセプトにした宿泊施設や商売の出店・開業も増えてきています。



石渡 これまでも一市民として、考え・声を上げることで色んなことを実現させてきたと思っています。今後も自分にできることは続け、次世代につなげていきたいです。

力を合わせ、2024 その先へ

濱館 今後のまちづくりに重要なことは何だと思いますか。

岩澤 まず「多摩川」は重要だと思います。「六郷の渡しまつり」で、多くのお客様が、川側に向けた椅子で談笑したり、食事をされたりしているのを見て、水辺の価値を再認識しました。水辺の整備は地域にも、来訪者にも大切なことだと思うので、行政と連携しながらやっていきたいです。

もう一つは「まちなみづくり」です。現在、東海道沿道の商店の数が減ってきています。建

替えなどの際に1階部分だけでも店舗が入れるようになれば、道の魅力も増し、賑わいます。しかし地権者として採算性や条例等の規制を考えると、そうなりにくくなっています。他地域の例も参考に、賑わいが創出しやすくなる様、規制緩和等も検討してもらいたいです。



木村 多摩川方面からの人の流れがもっとできれば、周辺商店街の賑わいも増していくと思います。

吉岡 川崎のまちを歩いた外国人で「川崎の魅力は“渋い居酒屋”だ」と言った方がいました。ディープな昭和の香りがする店が連なる横丁の雰囲気、昼夜で店主や業態が異なるお店、人が集うスナックなどができると面白いと思います。

石渡 空き店舗などを活用して、若手がチャレンジできるような仕組みがあるといいですね。

濱館 2028年には京急川崎駅に隣接し、多摩川方面に1万5千人規模のアリーナを中心とした複合エンターテインメント施設の開業も予定されており、駅・多摩川・東海道の回遊性向上への期待感が高まっています。一方、東海道周辺で雰囲気が暗い場所も残っている。例えば国道15号高架下です。

岩澤 壁面を利用して何かやるとか、明るい雰囲気できると良いですね。すぐにでも取り組みたいです。

濱館 いろんな意見や行動が、周りを動かしていくのだと思います。今後も皆さんと力を合わせ、まちづくりを楽しく進めていきたいです。



東海道川崎宿の模型の前で

メディアでの紹介

川崎宿起立400年プロジェクトは、多くの団体・メディアにそのPRにご協力いただいた他、特集や記事等に取り上げていただきました。その一部を紹介いたします。

公共空間のモニターやビジョン、サイネージ等での広告・動画の放映

場所	時期	内容
京急川崎駅	10月	イベント総合案内
かわさききたテラス	10月	イベント案内、動画の放映等
ルフロンLEDビジョン	9/1-10/21	CM400年前を歩こう(30秒)、市長シンポジウム予告(2分)
	11/3-30	中間灯PR動画(30秒)
アゼリアビジョン	8/11-17、 10/6-12	CM400年前を歩こう(30秒)

その他:教育文化会館入口、カルッツかわさき、川崎競馬場、川崎競輪場など

雑誌・新聞等での特集

媒体名	掲載時期・号	特集の内容
こどもタウンニュース	2022年7月号	全市版で1面特集 「もうすぐ400年 川崎宿」
雑誌『江戸楽』	2023年9月号	表紙&巻頭特集「東海道川崎宿起立400年 ～むすび つながる 東海道～」20P、 別刷制作
市政だより全市版	2023年8月号	「東海道川崎宿起立400年」(1～3面)
市政だより川崎区版	2023年～ 2024年発行号	1面特集(2023年1・10月号) 連載「わたしと川崎宿」 (2023年1月～2024年1月号) 2・3面特集(2024年3月特別号)

その他記事の掲載等:朝日新聞、神奈川新聞、産経新聞、タウンニュース、東京新聞、読売新聞、
『SKYWARD』(JAL 機内誌)、雑誌『歴史人』など



ラジオ・テレビ番組での紹介・特集 ※以下、事務局が把握している一部のみ

局名	番組名	放送時期・内容など
かわさきFM	かわさきDOWNSTREAM	8/18、9/26、10/17 シンポジウム、六郷の渡しまつり
	かわさき ホット☆スタジオ	10/5 シンポジウムほか
FMヨコハマ	COLORFUL KAWASAKI	10/1 中間灯ほか
YOU テレビ	地域情報番組 MyYou!	10/2-8 シンポジウムほか 3/22-31、4/1-7 シンポジウム特別番組
ラジオ日本	住まいのトラブルバスター	10/8 シンポジウムほか
テレビ神奈川	LOVEかわさき	10/28 川崎宿紹介
NHKラジオ第一	NHKラジオニュース (気象情報・交通情報コーナー内)	10月平日 スタンプラリー、中間灯ほか
NHK	おはよう日本	12/16 御紋むすび伝説ほか

この他、HPやSNS、メルマガ等でも沢山のご紹介をいただきました。ありがとうございました。

賛助金・クラウドファンディング

川崎宿起立400年記念プロジェクトへの賛助金、クラウドファンディングへ
たくさんの方々のご賛助・ご賛同をいただきました。
誠にありがとうございました。



賛助金額：7,145,000円
クラウドファンディング：340,000円
総額 7,485,000円

賛助金 クラウドファンディングご賛同者 ご芳名 (計132団体・個人の皆さま) ※5月13日時点

川崎信用金庫
堂本製菓株式会社
池田 ハルミ
有限会社 成喜
下村 秀雅
株式会社 山根工務店
斎藤 文夫
有限会社 龍美社 下村 竜也
宗教法人 稲毛神社 宮司 市川 和裕
川崎商工会議所
カワフルテクノ株式会社
大本山川崎大師平間寺
南山大学人文学部 准教授 池田 満
宗教法人 稲毛神社 名誉宮司 市川 緋佐磨
株式会社 岩田屋
小川町町内会
NPO法人 かわさき歴史ガイド協会 理事長 藤田 智恵子
宗教法人 教安寺
三陽フォトスタジオ
下並木町会
進栄商事 斎藤 富美子
高柳 馨
チネチッタ通り商店街振興組合
株式会社 東照 代表取締役 岩瀬 巨克
日進町町内会
平川 悦子
ブルー・リパティアー
美之浦建設㈱ 葦浦 広哲
安本 好勝
吉原 真里子
若宮八幡宮 宮司 中村 博行
青木 茂夫
株式会社 アクトジモティ
旭町一丁目町内会
あだちはらパーキング
株式会社 アップ総合企画
㈱アドニス
アルマーク株式会社
砂子1丁目町内会
砂子2丁目町内会
㈱石渡土地管理事務所
市川 洋治

岩山 眞士
鰻・割烹 まるだい
(有)エヌケーテクニカルシステム 沼田 直輝
岡田 榮子
公益社団法人 神奈川県地建物取引業協会 川崎南支部
(有)カネコ住販
Quartet SISLEY
川崎砂子会協同組合
川崎駅前仲見世通商店街振興組合
一般財団法人 川崎沖縄県人会
川崎銀座商業協同組合
川崎銀座街商業協同組合
川崎区文化協会 会長 中村 紀美子
川崎区連合町内会
川崎小売酒販組合
㈱川崎ゴルフ練習場
一般社団法人 川崎市弘済会
川崎市東田商店街商業協同組合
川崎宿インバウンド研究会
川崎新宿青年会
川崎大師山門前住吉
株式会社 川崎中央はりきゅう院
株式会社 川崎中央プランナー
川崎中央ロータリークラブ
川崎日航ホテル
川崎マリンロータリークラブ
川崎南ロータリークラブ
川崎ロータリークラブ
(有)グリーンフーズあつみ
京浜化工㈱
小山塗料株式会社
有限会社 佐野商店
賛光電器産業株式会社
株式会社 セレモニア
第一生命保険株式会社 川崎支社
たちばな道商店街振興組合
株式会社 チッタ エンタテイメント
株式会社 ツインズシステム
株式会社 ディー・エヌ・イー
東都熱工業㈱
とろろ汁の丁子屋
中野 純斗

日進商栄会
芳賀 寛
(有)発財 シーハーズ 西尾 猛
(有)花紋
濱崎 幸二
パペール商店会
東田町内会
ピカピカわくわく川崎宿
ホテルメトロポリタン川崎
本町一丁目町内会
本町二丁目町内会
本町二丁目東町内会
三井住友信託銀行 川崎支店
宮本町町内会
武蔵時計ビル
有限会社 山善商事
ユースキン製菓株式会社
横浜銀行 川崎支店
WILDSTOCK 松丸 裕司
中村 紀子
浅内 礼子
石渡 稔也
宗教法人 一行寺 代表役員 吉水 智栄
川崎駅広域商店街連合会
川崎市中央観光協会
川崎大師観光協会
川崎 太朗
川崎平和通商店街振興組合
菊地 利江
京浜土地建物株式会社
後藤 和行
下村 京子
TMCシステム株式会社
東横INN Jr.川崎駅前
株式会社 トムラ
有限会社 福来屋商店
宮前町町内会
横田 圭二
株式会社 リットアップ 代表取締役 吉岡 明治
東海道セブンスターズ 代表 梅本 誠

※匿名希望の8団体・個人を除く

※クラウドファンディングは、CAMPFIRE(camp-fire.jp)上で、
2024年1月～3月にかけて実施しました。

東海道川崎宿を活かした地域活性化 この20年 地域の主な動き

1997 平成9

川崎区づくり白書『区民のまちづくり宣言』

川崎宿の歴史文化に光を！の提案

2000 平成12

「かわさき大師観光ガイドの会」発足 「かわさき歴史ガイド協会」前身

第1回川崎宿めぐりウォークラリー その後、鶴見区や大田区などとの連携も経て、現在のスタンプラリーに

2001 平成13

一行寺敷入り縁日(1月)復活 60年ぶりの開催 新宿青年会を中心に

「大川崎宿まつり」開催 各宿が東海道宿制400年で盛り上がる中、川崎でも大名行列や万年屋復活など実施

2003 平成15

市民提案書「東海道川崎宿2023いきいき作戦」

目標年を川崎宿起立400年の2023年に定め、16のプロジェクトを提案。後の多くの活動の基に

2004 平成16

「東海道川崎宿2023」活動開始 市民提案書をまとめた検討委員会から発展

芭蕉ポケットパーク完成(日進町)、川崎宿めぐり等すごろく(～2008)

様々な史跡案内・解説版等の整備(～現在、総合案内板・本陣跡・京口跡・内侍所奉安所跡など…)

2005 平成17

アゼリア観光案内所開設、シャッター浮世絵(～2008)

坂本九さん追悼コンサート(～現在)、能狂言教室(～現在、内公立小学校高学年対象)

2006 平成18

「東海道川崎宿まちなみまちづくりガイドライン」策定、閻魔寺寄席(～2010、2012～2019)

2010 平成22

奈良茶飯再現(連連連・つなごう川崎)

2012 平成24

「麦人の会」活動(川崎宿麦わら細工)開始

2013 平成25

「東海道かわさき宿交流館」開館(10月)

2015 平成27

第1回東海道川崎宿2023まつり・三角おむすびレシピコンテスト(～現在)

芭蕉の句碑に投句箱設置

2017 平成29

三角おむすびギネス記録挑戦&達成(川崎青年会議所企画)

2018 平成30

川崎宿大学(～2023)

「川崎三角おむすび音頭」誕生(いきいき川崎区提案事業→おむすび-ZUの活動)

2019 令和元

「川崎浮世絵ギャラリー」開館

東海道川崎宿スタンプラリー(地域一帯による実行委員会形式開始)

2020 令和2

「川崎宿インバウンド研究会」発足

2021 令和3

川崎宿起立400年プロジェクト推進会議発足

2023 令和5

東海道川崎宿起立400年 中間灯整備、シンポジウム、六郷の渡しまつりなど様々な記念プロジェクトを展開



東海道川崎宿2023 池田ハルミ

「東海道川崎宿2023いきいき作戦」の中で、川崎宿の名産・お土産として「三角おむすび」「麦わら細工」「ハゼの甘露煮」などの復活が提案されていました。

地域で食されていた東京湾の「ハゼ」は環境変化等により、現在は獲れなくなっており断念。「麦わら細工」は資料があった大森郷土資料館に、早速見学に行きました。

市民館で体験講座を開催し、参加者で工夫しながら体験、再現を始めました。こうして誕生したのが「麦人の会」です。区内イベントなどで、多くの方に知っていただく機会をつくることができました。夏休み体験講座に参加した児童の自由研究が賞をいただいたこともあり、またいつか活動を再開したいと思っています。

川崎宿起立400年プロジェクト推進会議 加入団体一覧（五十音順、134団体）

※太字は企画運営部会参加団体

愛知ふとん店、株式会社アイ・レジャー・エンターテインメント カワスイ 川崎水族館、葵薬品産業株式会社、株式会社 アクサス川崎、旭町一丁目町内会、旭港町内会、株式会社 アップ総合企画、アルマーク株式会社、砂子1丁目町内会、砂子2丁目町内会、宗教法人 一行寺、イッツ・コミュニケーションズ株式会社、稲毛神社、株式会社 岩田屋、鰻・割烹 まるだ、有限会社エヌケーテクニカルシステム、小川町町内会、小川町通り会、公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会川崎南支部、神奈川県中小企業家同友会 川崎支部、有限会社カネコ住販、カプセル&サウナ 川崎ビッグ、有限会社花紋、川崎砂子会協同組合、**川崎駅広域商店街連合会**、川崎駅前仲見世通商店街振興組合、一般財団法人 川崎沖縄県人会、株式会社川崎京香園、川崎キングスカイフロント東急REIホテル、川崎銀座商業協同組合、川崎銀座街商業協同組合、**川崎区中央地区連合町内会**、川崎区文化協会、川崎区盛り上げ隊！、川崎幸ロータリークラブ、川崎市栄養士会、一般社団法人 川崎市弘済会、川崎小売酒販組合、川崎市産業振興財団、**川崎市中央観光協会**、川崎市東商店街商業協同組合、公益財団法人 川崎市文化財団、一般財団法人 川崎市保育会、公益財団法人 かわさき市民活動センター、**川崎宿インバウンド研究会**、川崎小学校同窓会、川崎商工会議所、川崎市立宮前小学校 教育後援会、**川崎新宿青年会**、川崎信用金庫、一般社団法人 川崎青年会議所、川崎セントラルホテル、川崎総合法律事務所、川崎大師表参道商業協同組合、川崎大師観光協会、川崎大師仲見世通会、川崎大師平間寺、川崎田島ライオンズクラブ、**川崎地区ホテル連絡会**、株式会社川崎中央プランナー、川崎中央ロータリークラブ、川崎日航ホテル、川崎東ライオンズクラブ、株式会社 川崎フロンターレ、川崎平和通商店街振興組合、川崎マリンロータリークラブ、川崎ライオンズクラブ、**特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会**、川崎ロータリークラブ、宗教法人 教安寺、株式会社 久保田酒店、クラブ ツーリズム株式会社、有限会社グリーンフーズあつみ、京浜化工株式会社、京浜急行電鉄株式会社、株式会社Kラインサービス、三陽フォトスタジオ、JTB川崎支店、NPO法人 姿勢教育の孝心会、下並木町会、有限会社進業商事、鈴庄木材株式会社、合資会社 清花堂、公益社団法人 全日本不動産協会神奈川県本部川崎支部、第一生命保険株式会社 川崎支社、大幸機器株式会社、株式会社タウンニュース社 川崎支社、たちばな通商店街振興組合、チネチッタ通り商店街振興組合、TMCシステム株式会社、東海道GLASS、東海道BEER川崎宿工場、**東海道川崎宿2023、東海道かわさき宿交流館**、東海道セブンスターズ、東京電力パワーグリッド株式会社 川崎支社、株式会社 東照、東都熱工業株式会社、堂本製菓株式会社、東横INN川崎駅前砂子、東横INN川崎駅前市役所通、東横INN Jr.川崎駅前、有限会社 成喜、日進商栄会、日進町町内会、一般社団法人 日本社会人アメリカンフットボール協会、林家人形店、パレール商店会、東田町内会、東日本旅客鉄道株式会社 川崎駅、株式会社藤栗毛、株式会社平川、特定非営利活動法人ファンズアスリートクラブ ファンズスポーツクラブ川崎、有限会社 福来屋商店、ホテル縁道、ホテルメトロポリタン川崎、正宗産業株式会社、本町一丁目町内会、本町二丁目町内会、本町二丁目東町内会、三井住友信託銀行株式会社川崎支店、美之浦建設株式会社、美濃戸、宮前町町内会、宮本町町内会、有限会社 武藤時計店、明治安田生命保険相互会社 川崎支社、株式会社 山根工務店、ユースキン製菓株式会社、YOUテレビ株式会社、横浜銀行川崎支店、有限会社 龍美社、WILD STOCK、若宮八幡宮

江戸時代の川崎宿



現代の川崎宿



※川崎市の空中写真を使用しています。

編集委員からのメッセージ

夢を未来につなげたい～やりたいことを全力で～ここからがスタート～川崎の可能性は無限に広がっている～2023を終えた今川崎宿の次の目標を定め 共有しよう！～次の100年後に向けて江戸から続く歴史的財産に磨きをかけワクワク・ドキドキ感の溢れた魅力ある街道づくりを目指して次世代に/パトタッチして頂ける事を期待します

皆様のおかげで記念誌を完成させることができました
関わってくださった全ての方に感謝申し上げます ありがとうございます

編集委員一同

発行日：2024（令和6）年6月吉日 発行者：川崎宿起立400年プロジェクト推進会議

※本冊子及びその内容に関するお問合せは川崎区役所まちづくり推進部地域振興課（044-201-3136）まで

東海道

川崎宿

400年



東海道川崎宿設立400年記念サイト内特設WEBページ

むかしも、いまも。
ひねもすかわさき
「むかしも、いまも。ひねもすかわさき」いよいよ公開。

特設WEBページ
はコチラ▼



川崎宿設立400年プロジェクト推進会議 広報プロジェクト(事務局：川崎区役所まちづくり推進部地域振興課)

資料と写真：川崎区役所地域振興部地域振興課